

高等部第3学年 英語R 学習指導案

1 題材名

Lesson 7 “Global Warming” Part 1 Exceed English Reading New Edition (SANSEIDO)

2 題材について

(1) 題材観

昨今、地球温暖化の問題が取り上げられるようになり、この問題は身近な話題のひとつとなっている。地球温暖化が人々や動植物に及ぼす影響や引き起こされる原因はどのようなものかを知り、解決策を探ることで、私たちが生きる環境について改めて認識する機会とする。

(2) 生徒観

本クラスは男子5人、女子3人、合計8人のクラスであり、高等学校普通科に準ずる教育課程で学習を行っている。何事にも積極的で、特に授業中は活発な発言が飛び交う。時に授業と関係のない私語もあり指導を受けることもあるが、概ね非常に意欲的なクラス集団である。

生徒一人一人が抱える障がいや疾患は様々である。特に配慮が必要なのは、視覚障がいを持つ生徒（1人）に対する支援である。常時、職員1人が傍らでノートをとったり、教科書を音読して内容を知らせたりするなどの支援を行っている。英語R（リーディング）に関しては、音声面の伝達を強調し、ノートをとることよりも、考えて発言する機会を大切に、この生徒が参加しやすい授業環境づくりを心がけている。

また、本単元の授業を設計する際に、生徒の温暖化に関する知識や意識の調査及びヒマラヤ地方の知識等を調査した。その結果、ネパールに関する知識や親近観が少ないことがわかった。

他の生徒の特徴は次のとおりである。

Aくん 脳波や服薬が原因で疲れやすく居眠りしやすいが、学習に意欲的で、英語への関心も高い。

Bさん 学級委員で、活発に発言する姿が定着している。苦手教科に対しても熱心に取り組む。

Cくん 文学や歴史に関する知識が豊富である。英語は苦手であるが前向きに授業に取り組む。

Dくん 視覚障がいを持つ。学習、芸術（音楽）、運動などすべてに対し高い能力を持っている。

Eくん 心臓病のため疲れやすく、時に居眠りすることもあるが、予習を積極的に行う生徒である。

Fさん 何事にも熱心で、不明な点があれば妥協せず質問を行う姿が定着している。

Gさん 車椅子使用。英語は苦手という意識を持ちつつも、英検3級に3度挑戦し合格を果たした。

Hくん 2年連続で県の暗唱大会に出場した経験がある。よく考えてから発言する慎重さがある。

(3) 指導観

生徒の実態調査の結果を考慮し、生徒の学習活動を評価し、支援するために次のようなICTの活用の工夫やコンテンツを用意する。

- ・ペンタブレットは、主に本文解釈および生徒の英語による解答の添削場面などに用いる。
- ・生徒の直筆のノートや記述等を画面に映し出す。
- ・キーワードと関連する既習事項を洗い出し、デジタルコンテンツ化する。
- ・板書は残す情報等を考慮し、必要に応じて大型モニタと併用し、デジタルとアナログの融合を図る。
- ・自作のビデオコンテンツ：大分県在住のネパール人を訪ね、ビデオを撮影、編集した自作教材である。

Bプロジェクト 学習評価と指導の改善の視点から

生徒の学習活動の様子を見取り、ICTを活用した支援や手だてを配置した授業を設計した。生徒の関心・意欲態度や思考力・判断力・表現力等をはぐくむために、実態調査から生徒の学習レリバンスを高める教材を用意した。また、英文読解を進める上で文章を生徒がじっくり推測する時間や辞書を使って調べながら、さまざまな解釈について生徒同士が意見を交わす時間を用意したい。その学習の様子を見取るために大型モニタに資料等を提示し、ペンタブレットでコンテンツに直接書き込み、生徒の様子を把握しながら授業を進めることとした。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	地球温暖化が人々や動植物に及ぼす影響や引き起こされる原因を知り，解決策を探り，私たちが生きる環境について改めて認識する。
関心・意欲・態度	読んだ内容について意見を持ち，意見や感想を述べようとしている。
表現の能力	文章の意味や作者の意向などを考えて，適切に音読したり，暗唱したりしている。
理解の能力	必要に応じて，辞書などを活用し，読んだ内容について概要や要点を把握している。
知識・理解	①場面や状況，目的に応じた表現を知っている。 ②「読むこと」に用いられている語句や文法を理解している。

4 指導・評価の計画

次	時	学習活動	指導上の留意点 ※Bプロジェクトの観点から	評価基準（基準B） （評価方法）
1	1	章全体を音読し，英語確認問題の意味を把握する。	・既習事項をもとに，大まかな内容を把握できるようにする。	関心・意欲・態度（観察） 必要に応じてメモをとるなど，内容に関心を持つ。 知識・理解①（確認問題） 場面や状況，目的に応じた表現を知っている。
2	2 (本時)	パート1 前半 ブータン，ネパールの氷河湖に関する報告を読み，課題について考察する。	※生徒の学習レリバン スを高める教材 (デジタルコンテンツ) を準備し，生徒の学習への関心及び意欲を高く保つようにする。また，タブレットと大型モニタを活用し，生徒の学習の様子を把握しながら，学習を進める。	関心・意欲・態度（観察） 読んだ内容について意見を持ち，意見や感想を述べている。 表現の能力（観察） 文章の意味や作者の意向などを考えて，適切に音読する。 理解の能力（観察及びデジタルコンテンツ，ノート） 必要に応じて，辞書などを活用し，読んだ内容について概要や要点を把握することができる。また，それを基に適切に訳し，記録している。
	3	パート1 後半 海拔の低い島国ツバルに関する報告を読み，課題について考察する。		
3	4	パート2 前半 北極海やアラスカなど寒冷地域への影響を読み，課題について考察する。	※生徒の読むことにおける文章や語句の意味を推測する場面を設定し，推測結果を確かめるために辞書を引きながら，多様な意味から作者の意図等を考えるようにする。	知識・理解②（確認問題） 「読むこと」に用いられている語句や文法を理解している。
	5	パート2 後半 人間に対する影響を読み，課題について考察する。		
4	6	パート3 前半 地球温暖化の根本的，直接的原因を読み，課題について考察し，意見交換する。		
	7	パート3 後半 温暖化が地球規模の問題であることの認識を読み，課題について考察し，意見交換する。		
5	8	パート4 前半 国家による解決策の例示		
	9	パート4 後半 個人でできる対策の提案を読み，課題について考察する。		
6	10	章末問題に取り組み，全体のまとめをする。	・学習課題に対する自分なりの考えを発表し，生徒同士の意見交換の中からよりよく生きるための地球環境への取組を理解させる。	関心・意欲・態度（感想文及び生徒の意見の記録） 読んだ内容について意見を持ち，意見や感想を述べる。 知識・理解②（確認問題） 「読むこと」に用いられている語句や文法を理解している。

5 本時の目標

(1) 目標

- ア 地球温暖化の現状を理解し、関心をもって読解を進める。
- イ 文（単語や語句）の意味を推測する。その後、辞書を引き推測の検証を行い、読解を進める。
- ウ 指導者とともに実際に語句や文を大きな声で発音する。

(2) 評価基準

【関心・意欲・態度】

（基準B）地球温暖化の現状を理解し、関心を持って読解を進めようとしている。

【理解の能力】

（基準B）文（単語や語句）の意味を推測し、読解を進めている。

(3) 展開

過程	学習活動〔学習形態〕	主な発問や指示	指導上の留意点及び評価 ※Bプロジェクトの視点	備考
導入 10分	1 本時の課題を確認する。 (1) 大型モニタに表示されたコンテンツを視聴しながら、本時の学習の課題等を把握する。【一斉】 (2) ヒマラヤ周辺の国々について理解する。【一斉】 (3) Nepalese について知り、教師に続けて発音する。【一斉】	○今から紹介するボタンやネパールの位置や言語から、本時の学習課題をつかみましょう。 ○正しいリズムやイントネーションなどを用いた発音を意識しましょう。	○文字と音声で実際にネパール語に触れ、言語体験の機会とする。 ※自作ビデオコンテンツを視聴することで、学習課題に関する生徒のレリバンス（関連性）の向上を図る。 【評価：関心・意欲・態度（観察）】 〈B基準に達しない生徒への手だて〉 個別に地球温暖化に対して本時の題材と関わりの深い資料を別途提示し、生徒の興味関心を引き出す。	大型モニタ 自主教材（デジタルコンテンツ）
展開 10分	2 本日の英文の音読 教師と共に音読し、本文の概要を大まかに把握する。【一斉】 3 主題文の確認 (1) 自分たちがあらかじめ考えてきた和訳を大型モニタ上で確認する。【一斉】 (2) 和訳について検討する。【一斉】【個人】	○画面に映しだした皆さんの和訳について、その良さや改善点について考え、より良い和訳を行いましょう。	○本文に目を通し、概要を掴むことに集中を図る。 ○ペンタブレットの画面書込み機能を使用し、生徒の和訳等の添削を進めながら学習を進める。 ※生徒の学習活動を見取るために、ICT を活用し、適切な指示や指導をしながら学習を進める。	大型モニタ ペンタブレット
25分	4 本文の読解 (1) 発問に答えつつ読解を進める。【一斉】 (2) 十分に推測し、教師の指示を待って辞書を引く。【個人】 5 英語による発問への解答 ○確認問題の答えをノートに書く。【個人】	○副詞やキーワードに注目してみましよう。 ○まず、文の成分の意味を十分に推測します。それから辞書を引いて調べてみます。 ○教科書にある確認問題2題に取り組んでみましょう。	○生徒の読解における推測する力を養うため、単語や熟語の意味を推測後、辞書を使用させる。 ※英文読解を進める上で文章を生徒がじっくり推測する時間や辞書を使って調べながら、さまざまな解釈について生徒同士が意見を交わす時間を設定する。 ○主語、動詞なども含め完全な文の形での記述を要求する。 【理解の能力（観察及びノート）】 〈B基準に達しない生徒への手だて〉 生徒の辞書の活用の様子を見取り、生徒の推測に対してアドバイスをする。	
まとめ 5分	6 まとめ 本章に関する資料を見て、本時のまとめとする。【一斉】	○地球温暖化やヒマラヤ地域に関するインターネット英文サイトなどから、今の課題を整理しましょう。	○教科書とインターネットサイトの数値を照合し、紹介されている湖の名前や情報との関連性を図る。	